

## 令和6年度大学コンソーシアムとちぎ 学生活動支援事業 報告書

機 関 名	国際医療福祉大学
団 体 等 名	国道461号ラベンダーロード計画
学生代表者氏名 (所属・学年)	仲村 夏生 (薬学部 薬学科・2年)
責任教職員氏名	藤井 幹雄

1. 事業名	国道461号ラベンダーロード計画 (2年目)
2. 実施時期	和6年4月1日～令和7年2月29日
3. 実施場所	栃木県大田原市奥沢349～1104 付近一般国道461号道路敷
4. 事業の内容等	<p><b>4-1. 概要</b></p> <p>栃木県大田原市奥沢 349～1104 付近一般国道 461 号道路敷 (中央分離帯) 国際医療福祉大学付近 約 500m にラベンダーを 412 本植樹する計画である。なお、中央分離帯の使用許可は栃木県土木事務所および、大田原警察署から栃木県指令大土第 0410629 号として認可 (令和 5 年 3 月 22 日) を受けて、令和 7 年 1 月に 本活動には、部活団体 PCC ラボ (生薬部の意) のメンバーと有志のボランティア学生が参加する。令和 5 年度には、貴事業の支援と大田原市みどりの倍増プラン推進委員会の支援により、250 本の植樹を行っている。令和 6 年度は、定着しなかった苗の交換と残りの本数を植樹することを計画している。さらには、追加申請を行い、さらに令和 6 年度以降約 400 本の植樹を行う予定である。</p> <p>大田原市国際医療福祉大学キャンパス周辺地図とラベンダーロード</p> <p><b>4-2. 目的</b></p> <p>国道 461 号 国際医療福祉大学前の中央分離帯にラベンダーを植え、景観の向上と大田原市の観光スポットとする。さらに、<u>美しい景観とその高いリラックス効果のある香りにより、学生並びに大田原市民の精神的健康の増進を目的とする。</u>ラベンダーを利用した商品開発も進めていく。また、地域活動を通じ、豊かな人間性、責任感や困難に打ち勝つ力など現実社会を生きる力の育成を目的とする。</p> <p><b>4-3. 内容</b></p>

#### 4-3-1. 植物基本情報：

ラベンダーはシソ科の低木（20～130cm）で、常緑の植物である。今回植樹するのは、寒さに強いイングリッシュ・ラベンダー系の品種である。4月から7月ごろに開花し、比較的栽培が容易な植物である。開花期には、紫の花を咲かせ、特有の香りを発する。ラベンダーから得られるラベンダーオイルは、アロマテラピーやアロマキャンドルにもよく利用されリラックス効果がある。



2024年 5月の写様子

穴掘り作業と土の入れ替え作業の様子

#### 4-3-2. 除草作業

コンソーシアムとちぎ学生生活動支援事業の助成により除草剤を購入し、散布したことで、除草作業の効率が上がり、景観をきれいに保つことができています。（次頁の写真）管理面積が広大になっているため、今後は除草剤と防草シートなどで作業の効率化を図る必要がある。

#### 4-3-3. 植樹の実施

国際医療福祉大学前の当該中央分離帯の幅は約10m、長さは約500mで途中には横断用道路がある。車線の境界から3m離れた位置に植樹を行う。縦は2m毎に1株、2列植樹していく。昨年度貴助成や大田原市の援助により、3年間412本の計画のうち250本の植樹を終えている。令和6年度は162本植樹し、412本の植樹を完成させた。なお、雨が降らなかったり、雨が続いたり天候不順や暑さにより枯れた株が増えたため植え替えも行った。

#### 4-3-4. 散水作業

夏季に雨が降らず、1日に200～300Lの水を運搬し散水を行う作業を行った。20Lのタンクなどで水を運搬したが、2Lのペットボトルで水を運搬し散水することが、今のところ良い方法であると考えている。

#### 4-3-5. 製品化

ラベンダーの花期に花を刈り取り、蒸留装置を用いてラベンダーの精油を約200ml製造した。そのうち、一部は風花祭（大学祭）にて、練り香水や、アロマキャンドルの作成に利用し、売り上げを除草剤の購入に充てるなど、今後の活動資金の確保に向けた取り組みを行った。



最上部までの植樹を達成



市民ボランティアの参加 2025. 11. 2



2024年11月の写真



散水の道具



ラベンダーの花



水蒸気蒸留



ラベンダー油

<p>5. 事業の成果と今後の課題</p>	<p><b>5-1 事業の成果</b>        主な成果を以下に列挙する</p> <p>①当初予定していた412本のラベンダーの植樹を完成させた。</p> <p>②除草作業（除草剤の散布含む）を行い、景観をきれいに保つことができた。</p> <p>③散水作業の方法を検討し、ペットボトルでの運搬が比較的短時間で良いことが分かった。</p> <p>④栃木県土木事務所と協議を行い、占有許可を更新し、866本のラベンダーを植樹する計画に変更した。（栃木県指令大土第060211号）</p> <p>⑤除草マットの上に堆積した土の除去を行った。</p> <p>⑥第9回日本薬学教育学会にて「国道461号ラベンダーロード計画～地域貢献を通じた態度教育について考える。」という演題で薬学部 6年生 佐井川紫穂がポスター発表を行った。（共同発表者として、申請者 仲村夏生、藤井幹雄を含む）</p> <p>⑦栽培したラベンダーからラベンダー精油の収穫（200mL）を行った</p> <p>⑧風花祭（大学祭）にて、ポスター展示と収穫したラベンダー精油を使った練り香水、アロマキャンドルの作成販売を行った。</p> <p>⑨ラベンダー精油を用いたドリンクの試飲会を行った。</p> <p>⑩ボランティア活動紹介を行い学生募集を行った。3名の新人が参加してくれるようになった。</p> <p>⑪市民ボランティアの募集を大田原市の広報誌「おおたわら」10月号 みんなの広場に掲載し6名の一般ボランティアが参加してくれた。</p> <p>⑫愛ロードとちぎに応募し、大田原市、栃木県土木事務所と協力し、協定を結んだ。（2025年2月5日）</p> <p>⑬次年度に向けた苗50株の作成を行った。</p> <p>⑭ボランティア参加者での意見交換会と親睦会を2回行った。</p> <p>⑮防草シートの設置を進めている。</p>
-----------------------	--



市民ボランティア 作業と意見交換会後の親睦会 2025年1月25日



防草シートの設置



ボランティア活動紹介



日本薬学教育学会での発表

## 5-2. 今後の課題

今後の課題を列挙する。

①継続して参加してくれる人材確保

②資金調達

③成果のアピール

④協力団体、協力者との交流、意見交換

